

国民年金 満額月額の推移

～物価上昇率ゼロでマクロ経済スライドを行う仮定のもとで～

		年月	調整率	基礎年金満額	
		2012 4	(%)	65,541	(円)
特例水準解消	1	2012 10	-0.9	64,951	
	2	2013 4	-0.8	64,432	
	3	2014 4	-0.8	63,916	
	4	2014 4	-0.8	63,916	
マクロ経済スライド (21年財政検証の27年間をそのまま適用すると仮定)	1	2015 4	-0.9	63,341	
	2	2016 4	-0.9	62,771	
	3	2017 4	-0.9	62,206	
	4	2018 4	-0.9	61,646	
	5	2019 4	-0.9	61,091	
	6	2020 4	-0.9	60,541	
	7	2021 4	-0.9	59,996	
	8	2022 4	-0.9	59,456	
	9	2023 4	-0.9	58,921	
	10	2024 4	-0.9	58,391	
	11	2025 4	-0.9	57,866	
	12	2026 4	-0.9	57,345	
	13	2027 4	-0.9	56,829	
	14	2028 4	-0.9	56,317	
	15	2029 4	-0.9	55,810	
	16	2030 4	-0.9	55,308	
	17	2031 4	-0.9	54,810	
	18	2032 4	-0.9	54,317	
	19	2033 4	-0.9	53,828	
	20	2034 4	-0.9	53,344	
	21	2035 4	-0.9	52,864	
	22	2036 4	-0.9	52,388	
	23	2037 4	-0.9	51,916	
	24	2038 4	-0.9	51,449	
	25	2039 4	-0.9	50,986	
	26	2040 4	-0.9	50,527	
	27	2041 4	-0.9	50,072	

但し、現行制度ではスライドの自動調節は「名目下限額」を下回らない範囲で行うものとされている

国民年金は、財政的には破綻していなくても、これのみで生活するには苦しい。
みじめな生活を余儀なくされる高齢者が大量に増えることに対処しなければならない